

◎ 検察審査会法の一部を改正する法律案新旧対照表

○ 検察審査会法（昭和二十三年法律第四百七十七号）

（傍線部分は改正部分）

改 正 案	現 行
<p>第二十八条 検察審査会議の議事については、会議録を作らなければならない。</p> <p>② 会議録は、検察審査会事務官が、これを作る。</p> <p>③ <del>会議録には、次に掲げる事項を記載しなければならない。</del></p> <p>一 <del>検察審査会議をした検察審査会の名称</del></p> <p>二 <del>検察審査会議の日時及び場所</del></p> <p>三 <del>検察審査会議に出席した次に掲げる者の氏名（ホ及びへに掲げる者にあつては、官職及び氏名）</del></p> <p>イ <del>検察審査会長又は第十五条第五項の規定により臨時にその職務を行う者</del></p> <p>ロ <del>検察審査員（イに掲げる者を除く。）</del></p> <p>ハ <del>第二十五条第二項の規定により臨時に検察審査員の職務を行う者（イに掲げる者を除く。）</del></p> <p>ニ <del>審査補助員</del></p> <p>ホ <del>検察審査会事務官</del></p> <p>へ <del>検察官</del></p> <p>ト <del>審査申立人</del></p> <p>チ <del>証人</del></p>	<p>第二十八条 検察審査会議の議事については、会議録を作らなければならない。</p> <p>② 会議録は、検察審査会事務官が、これを作る。</p> <p>〔新設〕</p>

- リ 第三十八条の規定により助言を徴せられた者
- 四 検察審査会議を傍聴した補充員の氏名
- 五 検察審査会議の議題
- 六 検察審査会議における第三号イからりまでに掲げる者の全ての発言
- 七 検察審査会議において議決をした場合にあつては、議決をしたこと並びに議決の趣旨及び賛否の数
- 八 検察審査会議において審査を行つた場合にあつては、審査を行つた事件に係る次に掲げる事項
  - イ 審査申立人の氏名又は職権による審査である旨
  - ロ 被疑者の氏名
  - ハ 被疑事実の要旨
  - ニ 公訴を提起しない処分をした検察官の官職及び氏名
- 九 前各号に掲げる事項のほか、検察審査会長が特に記載を命じた事項

第二十八条の二 検察審査会は、検察審査会議を開いたときは、遅滞

なく、次に掲げる事項を公表しなければならない。

- 一 前条第三項第一号及び第二号に掲げる事項
- 二 検察審査会議に出席した前条第三項第三号イからりまでに掲げる者のそれぞれの人数
- 三 前条第三項第四号の者の人数
- 四 前条第三項第五号に掲げる事項

〔新設〕

五 検察審査会議において審査を行った場合にあつては、議決の有無

第三十九条の二 〔略〕

- ② 審査補助員の数は、二人以内とする。  
③～⑤ 〔略〕

第四十一条の四 検察審査会は、第四十一条の二の規定による審査を行うに当たつては、審査補助員を委嘱し、法律に関する専門的な知見をも踏まえつつ、その審査を行わなければならない。

- ② 前項の審査補助員の数は、第三十九条の二第二項の規定にかかわらず、二人とする。

第三十九条の二 〔略〕

- ② 審査補助員の数は、一人とする。  
③～⑤ 〔略〕

第四十一条の四 検察審査会は、第四十一条の二の規定による審査を行うに当たつては、審査補助員を委嘱し、法律に関する専門的な知見をも踏まえつつ、その審査を行わなければならない。

〔新設〕